

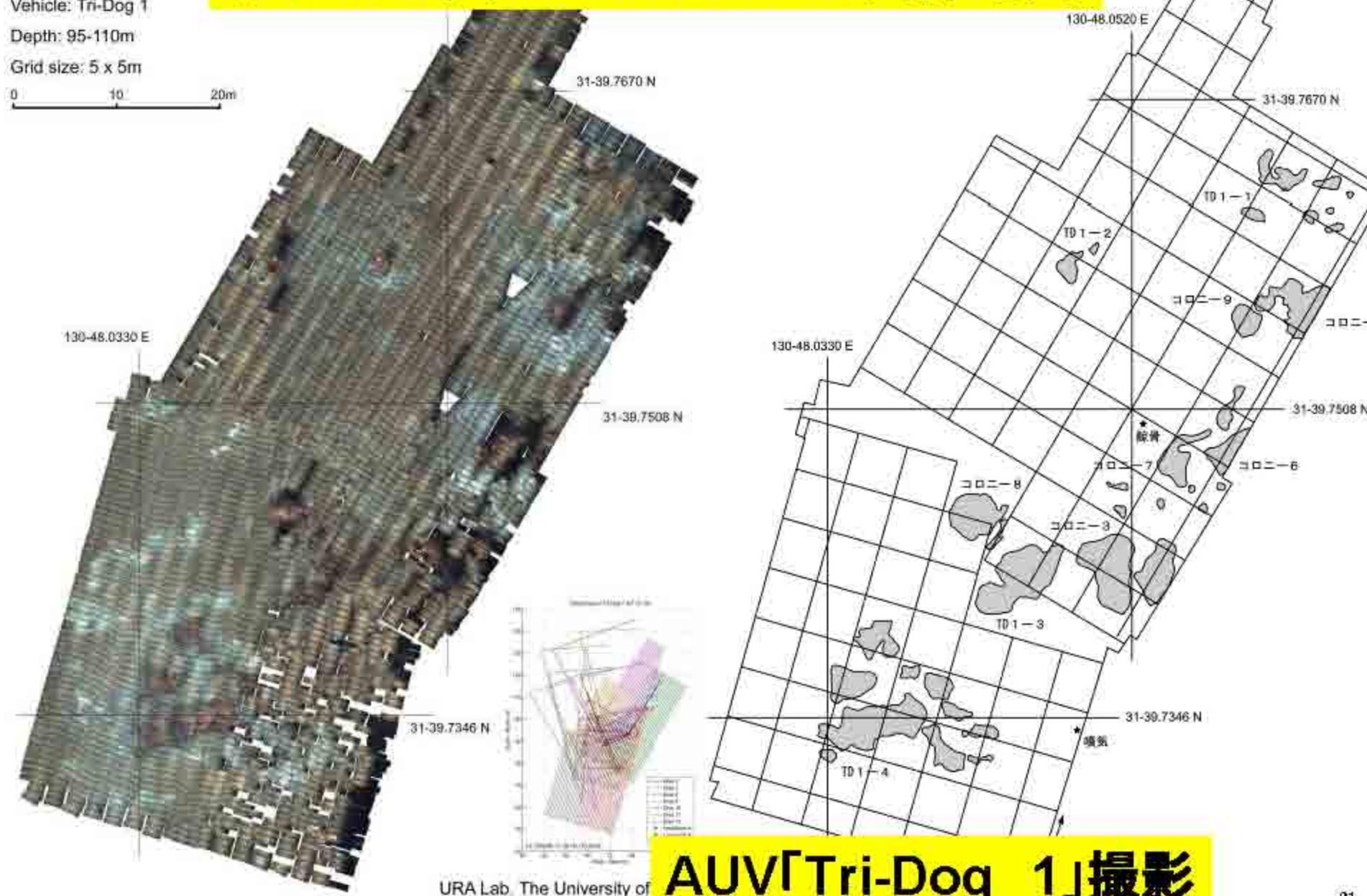
## 熱水鉱床調査のストラテジー

1. 調査船から計測された地形図より候補地を決定
2. AUVのSSSによる概査  
6時間/日 × 800m幅 × 3ノット = 27 km<sup>2</sup>/日
3. IFSにより詳細地形図の作成
4. 反射強度による海底土質の推定
5. ROV等による画像確認
6. AUVによる画像地図の作製
7. BMSIによるコア採取
8. 賦存量の推定

# Photo Mosaic Image of Tube Worm Site

Leg: KT-07-20  
Date: 2007/8/16-26  
Vehicle: Tri-Dog 1  
Depth: 95-110m  
Grid size: 5 x 5m

## サツマハオリムのコロニーの画像地図



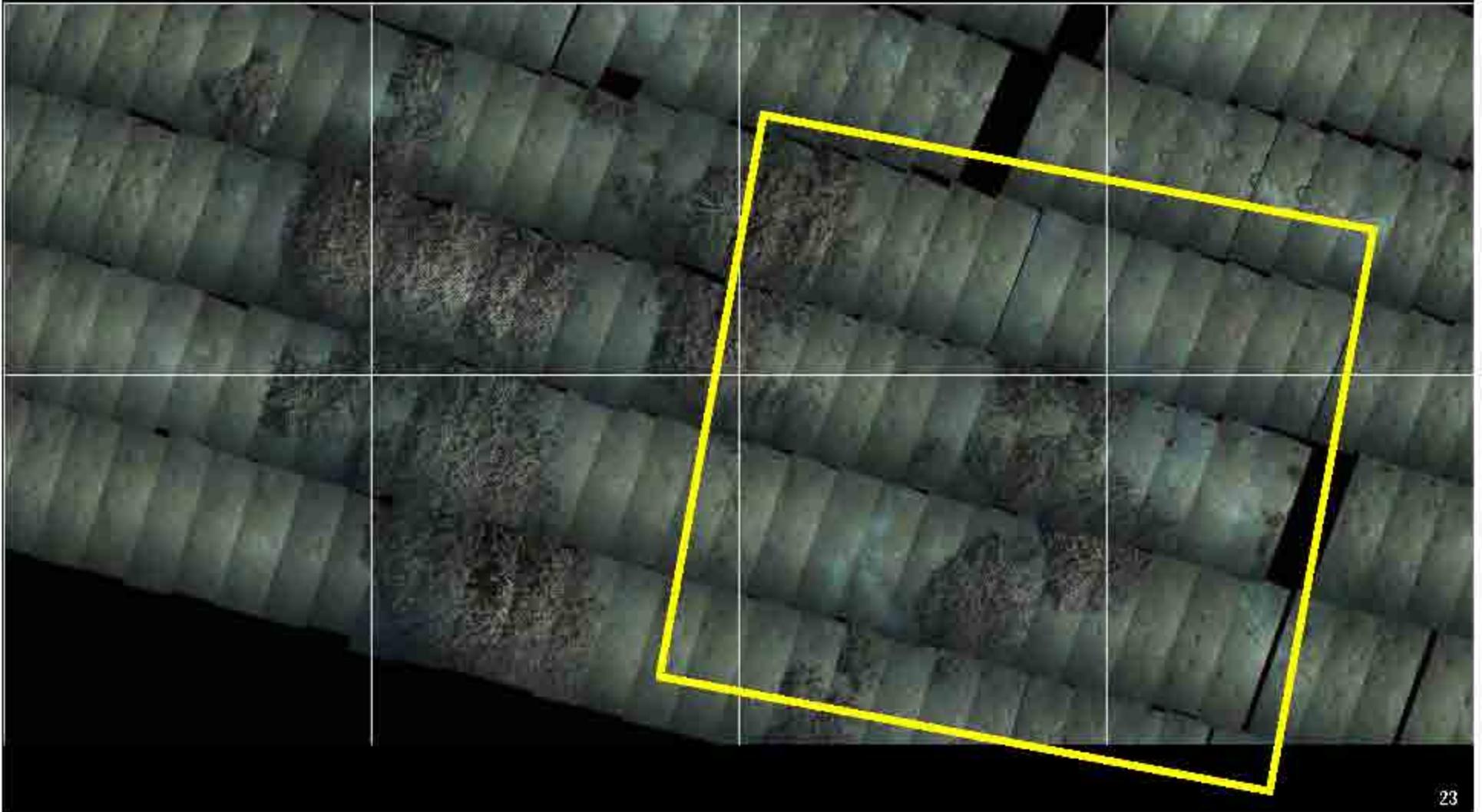
AUV「Tri-Dog 1」撮影

# Close-up of TD1-4 Colony



## Close-up of TD1-4 Colony

5m





## 新たな展開

1. 専用中型AUVの導入: 船と支援装備を選ばない
  2. IFSの強化
  3. AUVにMBESやSub Bottom Profilerの装備
  4. 小型AUVを導入して詳細調査: 画像Mapの作成
  5. 中型AUVで磁場の計測
- 
10. 死んだチムニーを探す  
活動を停止した古い熱水地帯